

平成29年8月24日

栃木市長 鈴木俊美様

大平地域会議

会長 赤澤 美智子

環境基本計画改訂「地域の取り組み」について（回答）

平成29年7月14日付、栃市環第180号で意見聴取のあった、環境基本計画改訂「地域の取り組み」について、下記のとおり回答します。

#### 記

環境基本計画改訂「地域の取り組み」については、適当と認めます。

ただし、次のとおり意見がありましたので、ご配慮くださいますようお願いいたします。

- 巴波川の水質汚濁問題は、例えば市街地で実施している観光船を目玉にして、下流は川の堰堤をサイクリングやウォーキングができるように整備し、PRしていくことで、不法投棄防止やゴミ拾いを市民がボランティア協力する取り組みが実施しやすくなる。環境改善は、身近に接する場所でないと関心がないので、まずはその場に行ける環境づくりをお願いしたい。
- 地域コミュニティ向上のためのリーダー養成は各世代にわたって人選し、実施プランに世代間交流主体の施策を図るようお願いしたい。元気な高齢者が増加する今後は、子ども達と交流することで互いに相乗効果を発揮し、若い大人達も含め地域が活性化し、また医療費削減が期待できる。
- 大平地域は、西・東・南の地域に分けられるが、各地域の環境問題は様々であり、各地域の実態に即した取組みを市民、事業者、自治会等の協力を得て、積極的な取組みを行った市民、自治会等を発表する。
- 個々の環境に対する取組みの向上を図るなど官民一体となった環境政策や、小中学校の子どもたちの環境教育を推進し、ふるさとの豊かな自然を守り次の世代へ継承させていくことも重要である。
- 自分たちが住んでいる周りをきれいにするという意識を持ち、その先に綺麗で住みよい街をつくるという考えを養っていかれたらと思う。

- ペット（犬）のフン処理について、きちんと処理する人もいるが、無責任な人も見受けられる。犬のトイレを数箇所設置しているが、利用状況、効果はどうか。ドッグランを設けるなど他の対策の検討があるのではないか。地域の有志でかかしの里付近にドッグランを設置する話合いをしたことがある。
- イノシシの被害について、田、畑以外に共同墓地も掘り返されて困っている。いろいろ対策しても果樹園等は再度、荒らされているようで、イノシシの増加に対応しきれない状況である。
  
- 蔵井の県道蛭沼川連線にある花壇のように各自治会に県道または市道に整備して、おもてなしと心和む風景になると思う。
- 永野川周囲を整備して、多くの人が散歩、自転車で通りたくなるようになるといいと思う。